

令和5年度厚生労働科学研究費補助金  
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業  
成人先天性心疾患に罹患した成人の社会参加に係る支援体制の充実に資する研究

成人先天性心疾患患者における就労の実態に関する文献レビュー

研究分担者 岡田 明子（北里大学看護学部 講師）

研究要旨

本研究は、成人先天性心疾患患者の就労の実態および就労に関連した困難感を明らかにするために、43本の国内外の文献をレビューした。本研究の結果については、今後論文にて発表する予定である。

A. 研究目的

本研究の目的は、国内外の文献レビューを行い、成人先天性心疾患患者における就労の実態および就労に関連した困難感を明らかにすることである。

B. 研究方法

文献検索のデータベースは医学中央雑誌Web、PubMed、CINAHL、EMBASEを使用し、2023年9月までに発表された論文を検索した。検索された文献から、成人先天性心疾患患者の就労に関する記述がある文献を抽出し、分析対象文献とした。

分析は、抽出された文献の記述内容から就労に関連する記述を抽出し、内容の類似性により整理した。

（倫理面への配慮）

本研究は文献レビューのため、倫理面への配慮は行っていない。

C. 研究結果

文献検索の結果、2632本の文献が抽出され、一次スクリーニング、二次スクリーニングの結果、43本の文献を分析対象文献とした。

分析の結果、国内外における就労率、雇用形態などの実態、就労に関連した困難感が明らかになった。

本研究は今後論文として発表する予定であり、結果の詳細については論文に記載する。

D. 結論

文献レビューの結果、成人先天性心疾患患者における就労の実態および、就労に関連した困難感が明らかになった。就労に関する困難感に関する研究の多くは量的に調査されたものであり、患者自身の詳細な経験については十分に明らかにされていない。今後、成人先天性疾患患者の就労を促進し、働きやすい環境を整備するためには、インタビューによる詳細な調査が求められる。

F. 健康危険情報

特になし。

G. 研究発表

本研究の結果は、次年度に論文発表をする予定である。

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし。